



ワンストップポータル構成モデル に関する一考察

【2014年度 東工大-NTT共同研究報告】

2015年4月14日

東京工業大学/NTT

庭野 栄一

はじめに

- **東京工業大学ソリューション研究機構社会情報流通基盤研究センター(ASIST)とNTT研究所は2008年度から電子行政に関わる共同研究を実施。**
- **これまでに、電子私書箱、公的個人認証活用／官民連携関連では以下の検討を実施**
 - 2008-2009年度:電子私書箱/コンシェルジュの機能・実装モデル・運用形態
 - 2010年度:公的個人認証の民間利用を前提とした官民連携モデルと公的個人認証の民間活用モデル
- **今年度は、国内の状況に基づき電子私書箱関連の動向やこれまでの検討を整理**

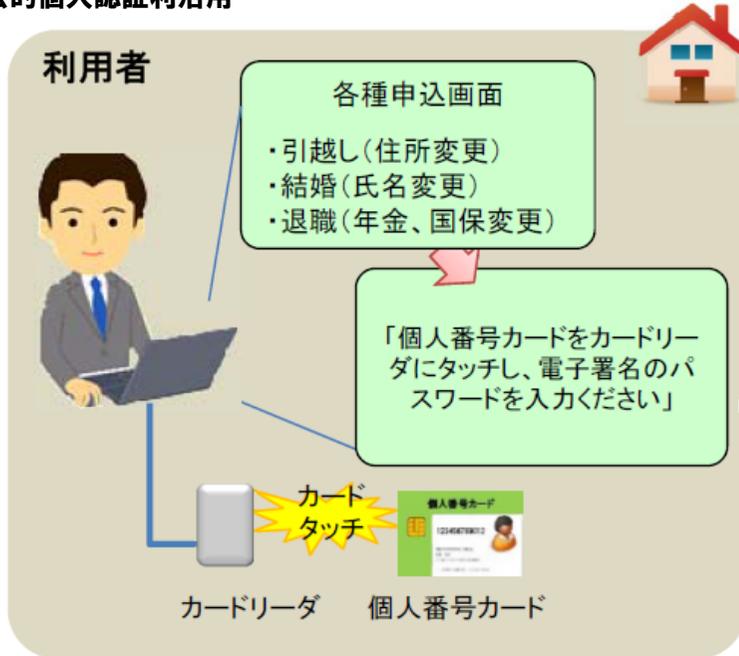


今回、電子私書箱を活用した利用者適用型のワンストップサービスの検討内容を紹介

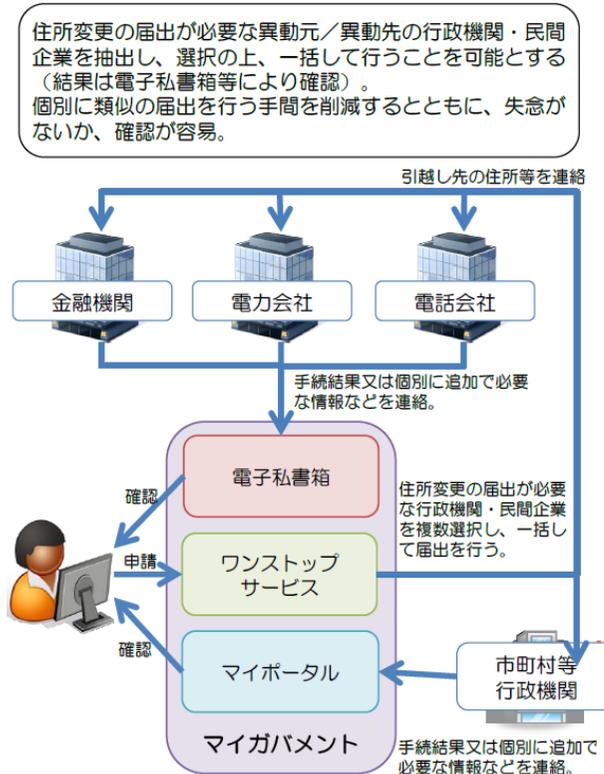
背景

- 現在、政府においては民間活用・官民連携により個人番号関連システムの利活用を促進するための施策として、「**公的個人認証利活用**」、「**ワンストップサービス・電子私書箱**」の議論が盛ん

公的個人認証利活用



ICT街づくり推進会議 共通ID利活用サブワーキンググループ(第7回会合)
 【参考資料7-1】ICT街づくり推進会議共通ID利活用WG・SAGにおけるこれまでの検討結果について P13.ユースケース例(電子私書箱・手続のワンストップ化)より抜粋・再掲
http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/kenkyu/ict-town/02tsushin01_03000269.html



高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部(IT総合戦略本部)第1回 マイナンバー等分科会 資料4 マイポータル/マイガバメントについて P7.サービスイメージ③ 引越しワンストップ(ワンストップサービス)より抜粋・再掲
http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/senmon_bunka/number/dai1/gijisidai.html

様々なライフイベント時に利用可能と期待

子供(妊娠、出産、検診/予防接種)、教育(入学～卒業)、年齢(成人、結婚、定年)、就業(就職、退職)、引越し、財産(持家、自家用車等)の取得、死亡(家族、本人)

ライフイベントの特徴とワンストップサービス

- **利用頻度が多くないため、手順を忘失**

- 一生の間に数回あるかないかであるため、個人レベルでは、初めて、あるいは過去に経験していても忘失してしまっていて、手順、内容がわからない

- **専門的知識が必要**

- 法律面、制度面での知識、ノウハウが必要

- **手続き先が多岐にわたる**

- 行政機関だけではなく、銀行をはじめとした民間にもおよぶ場合がある

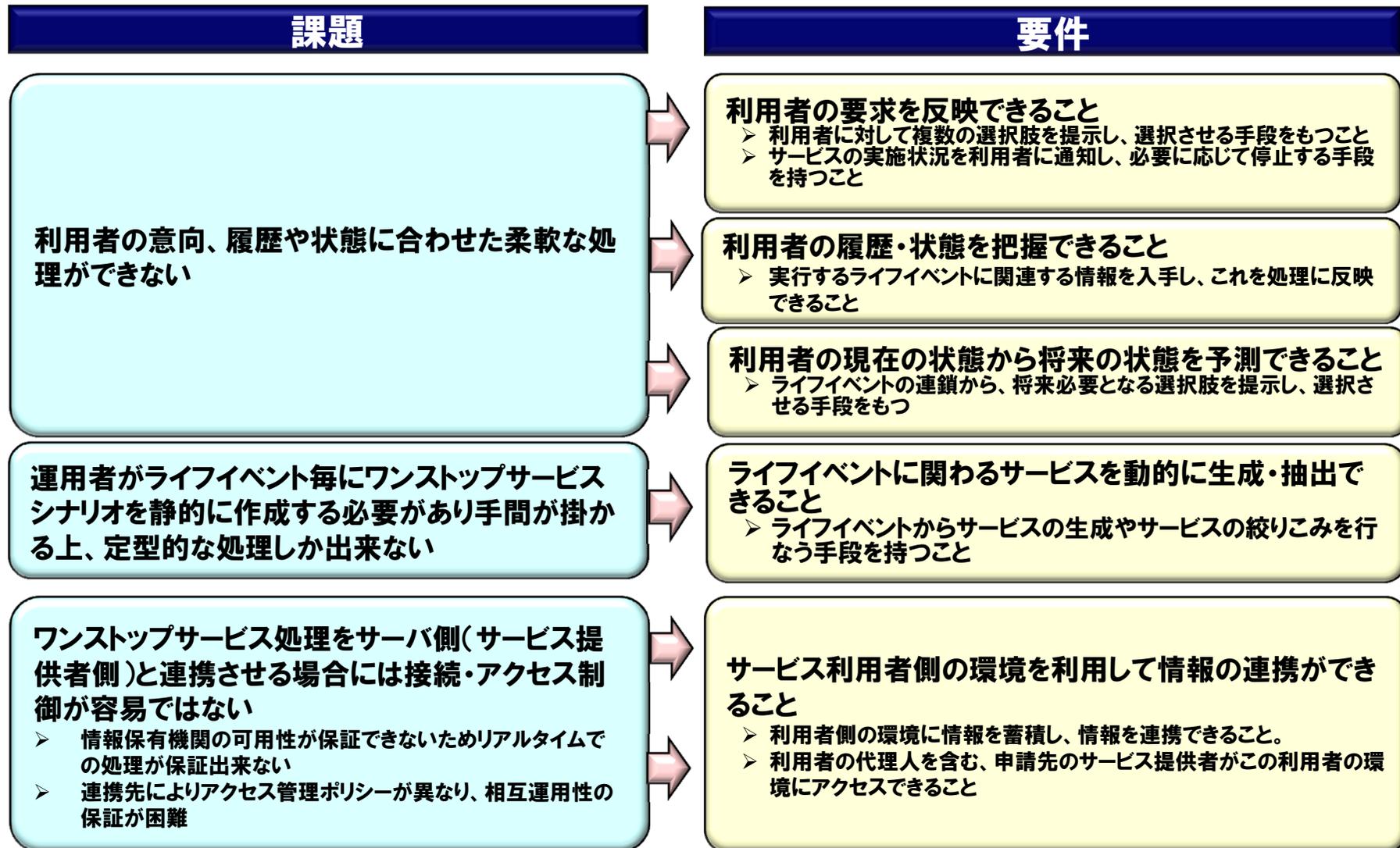
- **本人だけでは完結しない**

- 1人では完結せず、複数の関係者が平行して手続きをしなければならないケースがある



**ワンストップサービス:一度の手続きで全ての作業を実行完了するための自動化機能
=コンシェルジュ**

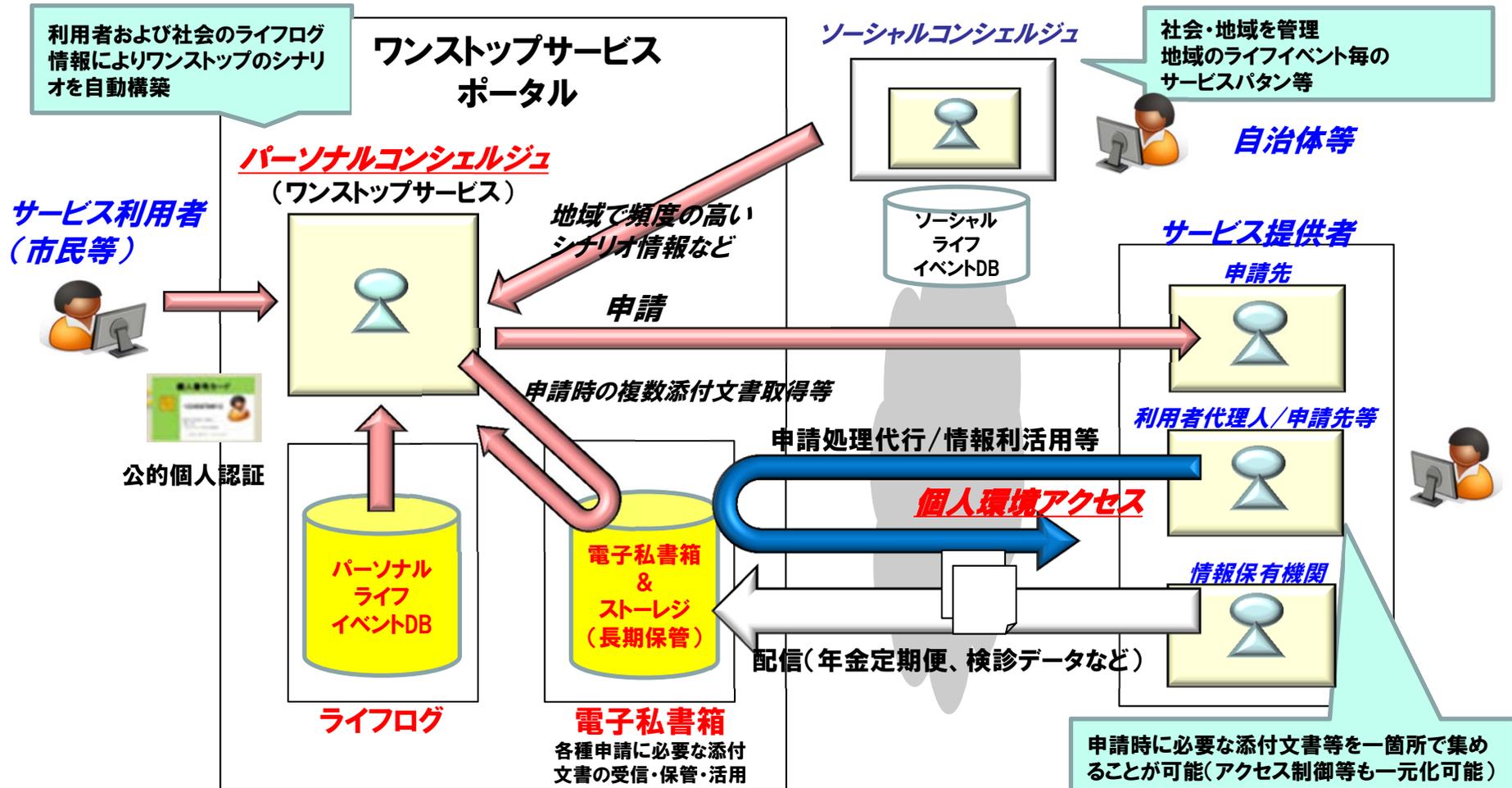
ワンストップの課題と要件



利用者・社会の履歴・状態に合わせた、利用者環境利用型
動的ワンストップサービスの実現

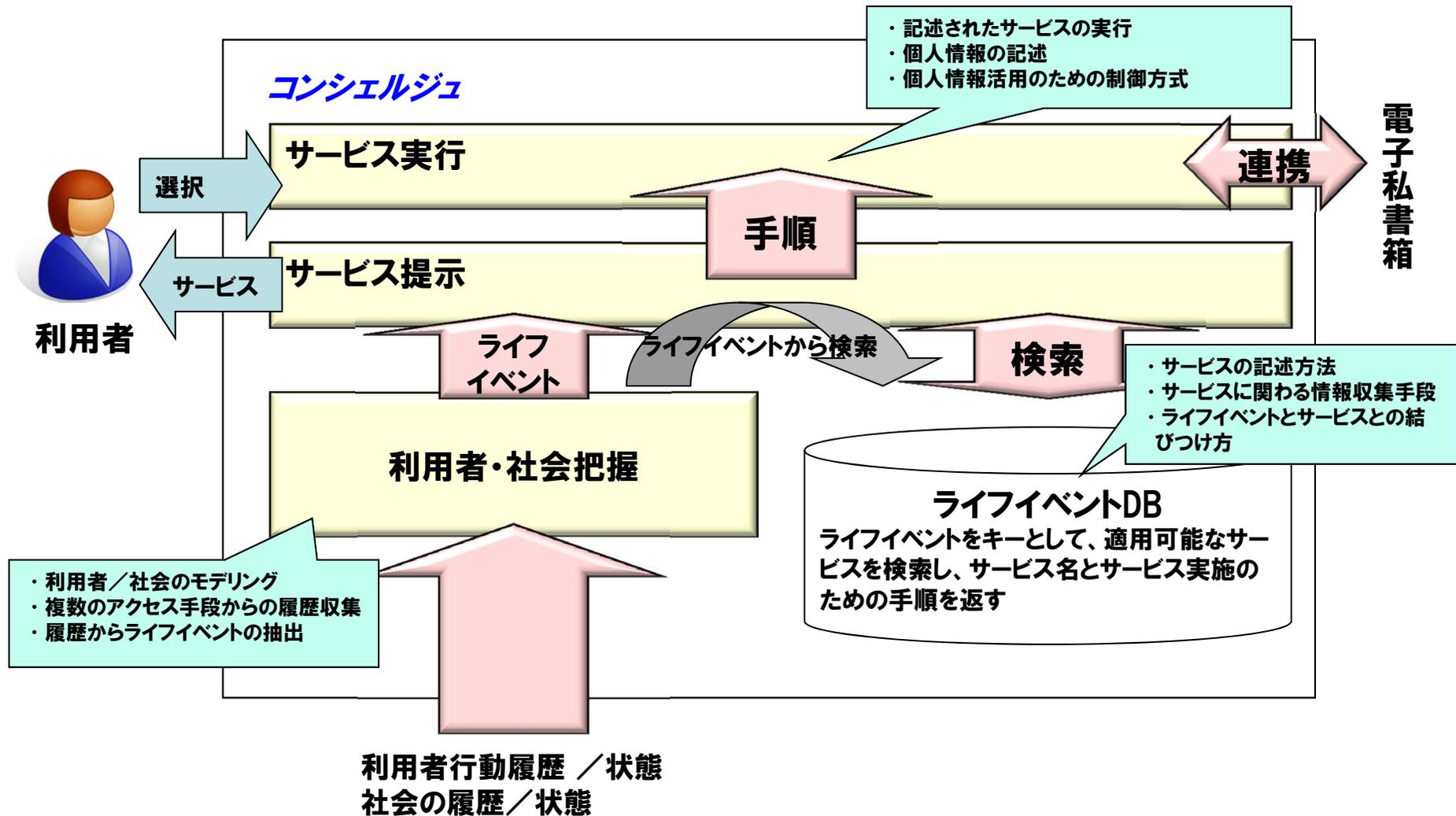
“ライフログ・電子私書箱活用”によるワンストップサービス高度化

- ① **パーソナルコンシェルジュ**による、利用者適用型動的ワンストップサービス【本発表】
 - ✓ 電子私書箱の情報を活用して、ワンストップサービス処理をポータル内で一元的に処理可能(アクセス制御も容易)
 - ✓ 利用者のライフログ(履歴)と利用者状態に基づいて、最適なワンストップサービスを実現
 - ✓ 社会を管理するソーシャルコンシェルジュ連携により社会的に実施頻度の高いシナリオを選択
- ② サービス提供者(申請先、利用者代理人等)による**個人環境(電子私書箱)アクセス**



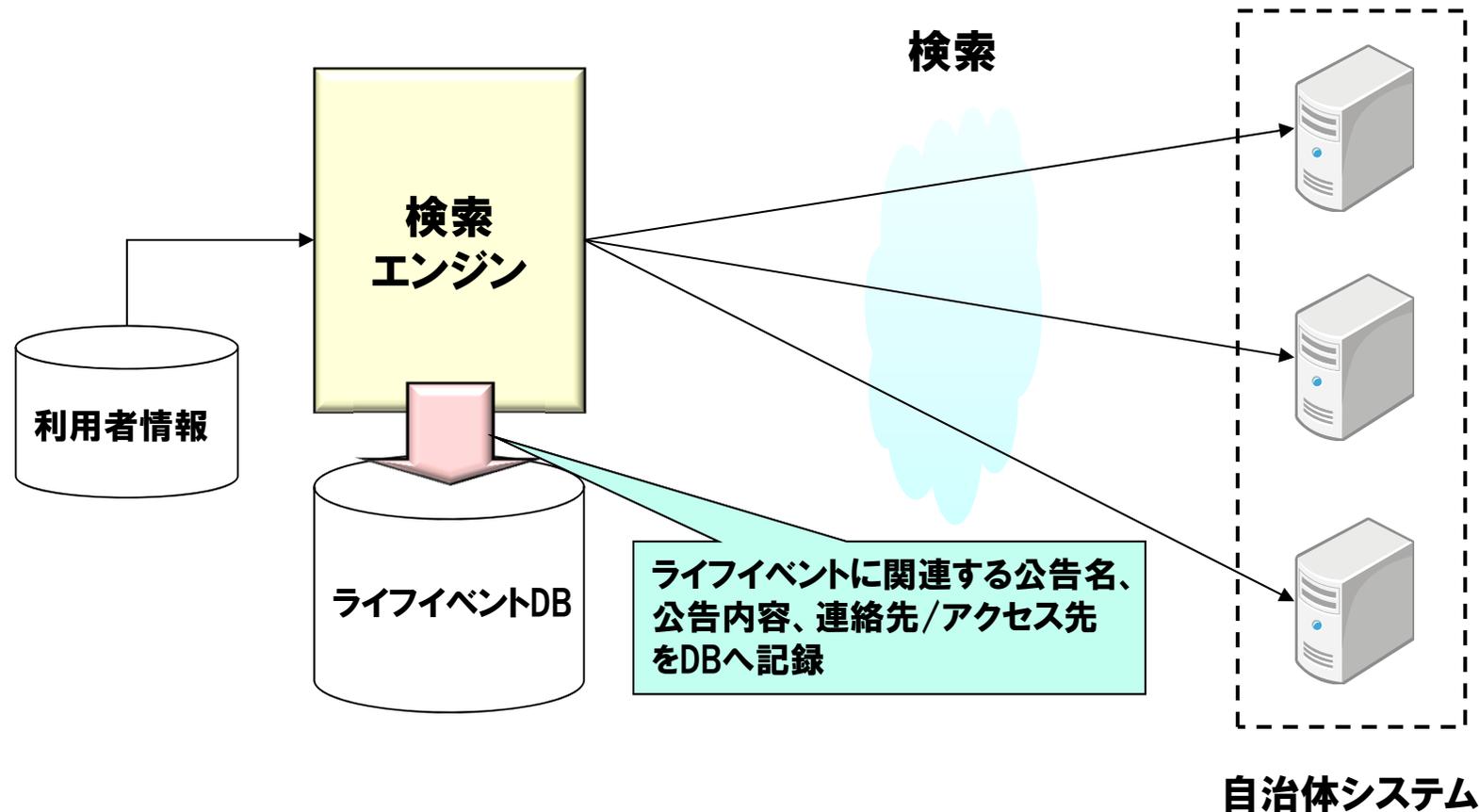
コンシェルジュの構成要素

- ポータル内でコンシェルジュを構成する場合を想定
- 利用者・社会の把握に基づきライフイベントDBから必要な手順を取得



ライフイベントDBの構成例

- 抽出されたライフイベントに関わる処理手続きへのリンクを収集したDB
 - 利用者の属性情報から、関連する自治体を特定し、自治体の公告の中からライフイベントに関わるものを抽出し、公告名、連絡先(アクセス先)等をDB化する



実現イメージ: イベントとして出産を選択した例

Webによるサービス受付を想定

- ① ライフイベントDBから関連サービスを利用者に提示
- ② 利用者がサービスを選択すると、手続き先URLをコンシェルジュ経由で表示
- ③ 利用者の入力画面では、コンシェルジュが以下のサポートを実施
 - 利用者の属性情報等でコンシェルジュが把握している範囲で、入力フィールドを補完 (以前にアクセスしたWebページのログインID等を補完する場合と同様な動作を想定)
 - 把握していないものは、入力を促す (可能であれば、例示する)
 - 確認後、手続きを実施

イベントとして出産を選択した例

氏名:	田中 花子
生年月日:	1975年12月25日
出産予定日:	

出産予定日を入力してください

おわりに

- 私書箱・ライフログを活用した、利用者適用型動的ワンストップサービスのコンセプトを紹介
- 今後の課題
 - ワンストップサービス構成要素に関わる官民責任モデル
 - 私書箱に配信されたデータの信用性保証
 - サービス提供者が個人環境にアクセスする際のセキュリティ
 - ✓ 私書箱データへのアクセス制御(利用者による開示制御等)
 - ✓ パーソナルデータ流通(転々流通含む)時の個人情報保護